

私の留学体験記

広島県立加計高等学校 2年 齊藤 涼奈 (さいとう すずな)

留学期間 平成29年8月14日 ~ 平成29年8月29日 (16日間)

留学先 ホノカア高校 (ホノカア, アメリカ合衆国・ハワイ州)



私は今回のハワイ短期留学での貴重な体験を通して多くのことを学びました。私にとってこの二週間は様々な視点から日本という国や自分自身を見つめ直す良いきっかけとなりました。

特に印象に残っていることが二つあります。一つ目は、ハワイには移民が多いということです。ハワイに留学する前から、「ハワイには日本からの移民が多い」ということを耳にしていたのですが、実際に行ってみると、日本からだけでなくフィリピンから

など多様性豊かでした。祖先が日本人で日本の姓の方も多かったです。現地の学校で、私と同じ姓の先生がいらっしゃいました。この時、ハワイにも自分と同じ姓の人がいるということに驚くとともに、遠い存在のように思えたハワイを身近な存在に感じました。また、姉妹校のあるホノカアの町を探索する中で広島県とハワイ、そして、私たちの住む安芸太田町にもハワイとのつながりがあることを知りました。

もう一つ印象に残っていることは、現地の人とのコミュニケーションです。これはハワイに行く前に私が一番不安に思っていたことです。私はあまり自分から話しかけたりする性格ではなく、自分の英語が通じるのだろうかという心配が大きかったです。今回、私がお世話になったホストファミリーの家は、よく人が集まる、にぎやかで楽しい家でした。そのため、同年代の人たちと話す機会がとても多かったです。最初、緊張してなかなか話せませんでした。しかし、現地の人たちは私を温かく歓迎してくれました。緊張して、どうしていいかわからない私はその温かさがとてもうれしかったです。趣味や将来の夢についてたくさん話すことができました。会話の中でわからない単語があれば思いきってその単語を繰り返して聞いてみると、簡単な単語に置き換えて話してくれました。相手のことをもっと知りたい、そして、相手に自分のことを知ってほしいという気持ちが大きくなり、会話が楽しくなりました。

私は将来英語に関わる仕事に就きたいと思っています。それは留学前から希望していたことでしたが、今回の留学を通して、ただ単に英語が使えるというだけでなく、その国や地域の文化や歴史も学習したうえで、英語が使える人材になりたいと思うようになりました。

